

持続可能な物流を支える物流効率化実証事業

令和6年度補正予算額 **23億円**

(1) 商務・サービスG物流企画室

(2) 商務・サービスG

消費・流通政策課/物流企画室

事業の内容

事業目的

「物流2024年問題」への対応として、今年4月に改正物流法が成立。全荷主・物流事業者に対し、物流効率化のための取組を義務づける中、複数企業が連携する物流効率化に資する取組に対し、システム構築費用等の補助を行い、物流効率化の取組を促す。

また、地域における物流の維持は今後ますます重要。増加が見込まれる買物困難者への対応策として、先進的なモデル事例を組成する。

事業概要

(1) 物流効率化に資する連携実証事業

企業規模を問わず、複数企業が連携した物流効率化に資する取組に対し、物流施設の自動化・機械化に資する機器・システムの導入、プラットフォームの構築等に係る実証費用を補助することを通じて、改正物流法の取組の実効性を高める。

(2) 買物困難者対策事業

地域における買物困難者対策を支援するため、自動配送ロボットの実証実験等を補助。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

(1) 物流効率化に資する連携実証事業



(2) 買物困難者対策事業



成果目標

本実証事業を通じ、複数企業が連携した物流効率化に資する取組を促進し、2024年問題及び構造的な需給ひっ迫による輸送力不足の解消を行い、我が国の物流の効率化を進め、トラックの積載効率50%を目指す。また買物アクセスに支障を有する地域での購買機会確保を目指し、買物困難者対策に資するサービスの展開を目指す。

①補助対象経費

令和5年度補正予算と同様、マテハン機器や標準的な物流資材、システム関連などのハード・ソフト経費をいずれも補助対象とする。

入出荷

トラックローダー

フォークリフト（有人・無人）

パレタイザー・デパレタイザー



トラックスケール

⋮

保管

物流資材、洗浄等附属設備

レンタルパレット



自動倉庫（ビル式、パレット式）



保管ラック

⋮

運搬

コンベヤ

垂直搬送機

AMR（自律走行搬送ロボット）



AGV（無人搬送ロボット）



⋮

仕分け

自動・無人仕分け機



ピッキングシステム・ロボット



⋮

（画像出所）株式会社ダイフク、オークラ輸送機株式会社、トラスコ中山株式会社、GROUND株式会社、国土交通省「物流DX導入事例集」掲載事例

システム投資

バース予約システム

RFID等自動検品システム

車両入退場管理システム

工程設計・BIシステム

伝票電子化・物流EDI

積付管理システム

AIカメラ・システム

輸送マネジメントシステム

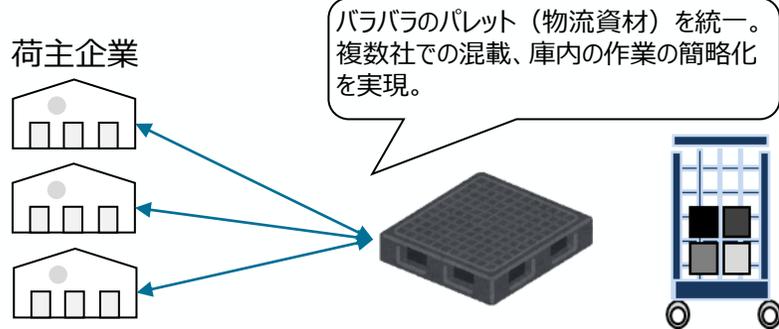
等

② コンソーシアム事例

複数の企業によるコンソーシアム形式での共同申請のみを申請として認める。関連企業と一体となって、ハード・ソフトの物流設備への投資を行うことで、より高い物流効率化効果を生むことが目的。

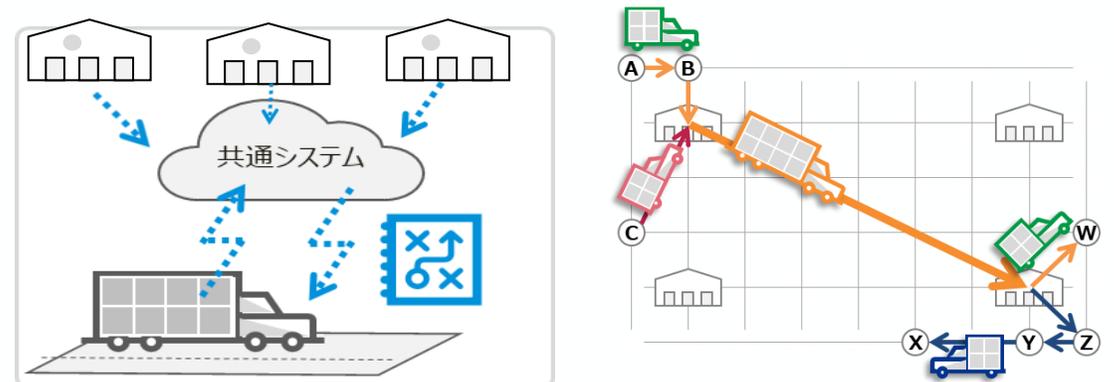
【コンソ例①】パレット（物流資材）の統一

サプライヤー毎にバラバラの資材で納入が行われていたが、**複数の荷主において、業界標準パレット**を採用。



【コンソ例②】共同輸配送（水平連携）

業界内や業界を超えた荷主・物流事業者による、共同輸配送の実施に向けた**共通システム**を構築。
データ収集、ルート設計等の共同輸配送の実現に向けた実証を実施。



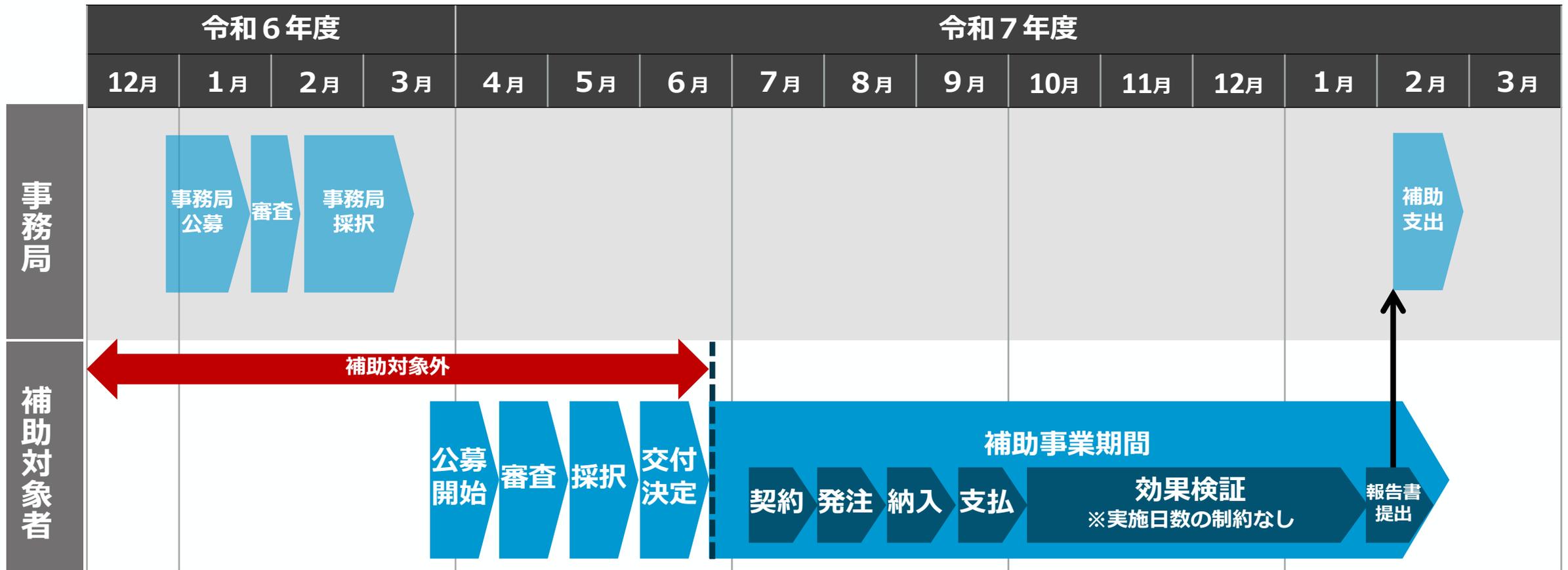
【コンソ例③】製・配・販の連携（垂直統合）

メーカー-卸売間、卸売-小売間のサプライチェーン内で、物流効率化のための**共通の物流情報システム**を導入。



③補正予算のスケジュール（イメージ）

- 実施時期は前後する可能性あり。
- **交付決定前の事前着手・契約・発注は、補助対象外。**



参考) 令和5年度補正予算 HP

申請に必要な書類等は令和5年度補正予算の内容も参考にさせていただきたい。

HP掲載情報

採択情報	採択事業者と事業概要の一覧
公募情報	公募期間、説明会資料、説明会動画、補助対象経費
事業について	事業概要／公募要領／交付規程
申請方法	申請様式、注意点など

令和5年度補正予算

物流効率化に向けた 先進的な実証事業

物流効率化のための設備・システム投資を応援

- 1 荷主企業における物流効率化に向けた先進的な実証事業
- 2 自動配送ロボット導入促進実証事業

HPリンク : <https://logiefficiency-meti.jp/>